

あさひなのはな保育室 保育室の自己評価

① 法人理念

社会福祉法人わかば会は子どもの最善の利益を尊重しその保護者の就労と地域の子育て支援を目的として経営を行い地域の福祉を積極的に推進する

② 令和4年度あさひなのはな保育室の保育方針

- 1 一人一人の子どもの思いを丁寧に受け止め、個々の発達を理解し子どもに寄り添った前向きな保育を行う
- 2 四季折々の行事や、遊び等の様々な経験を通して豊かな感性や自ら進んで生き生きと活動できるようにする
- 3 職員自ら積極的な挨拶や丁寧な言葉遣い、人との接し方等を行い子ども達の見本となる
- 4 保護者に子どもの育ちの姿を丁寧に伝え、成長や子育ての喜びを感じることができるよう支援する
- 5 職員は保育所の役割の多様化を理解し、自らの保育を振り返りながら、職務にふさわしい倫理観を身につけ、保育室全体の質の向上に努める

③ 令和4年度目指す子ども像（園目標）

- 1 心も体も元気な子
- 2 心の豊かな子
- 3 自ら進んで頑張る子

④ 令和4年度求める子どもの姿

健やかに 伸び伸びと育 つ	あたたかな環境の下で受容され、自分のやりたいことを積極的に行いながら伸び伸びと身体を動かし、健康かつ安心して過ごすようになる 見守られながら、食事を摂る、着替え、トイレトレーニング等、身の回りのことを自分でできるようになる
身近な人と 気持ちが 通じ合う	身近な人に受容・応答されながら、自分の感情を表したり、保育者や友達と関わりながら言葉のやり取りやごっこ遊びを楽しんだりするようになる 安定した環境の下、身の回りの様々な人と関わりを持って過ごす中で、決まりがあることや相手の気持ちに気付くようになる
身近なもの と 関わり・ 感性が育つ	主体性を尊重した生活や遊びを通して、探求心や好奇心、豊かな感性を身に付ける 身近な環境に親しみ触れ合う中で、植物、動物、自然現象に興味関心を持つようになる 友達や保育者、地域の方との触れ合いを通し、思いやりや信頼感を身に付け、見守られながら育つ喜びを味わう

⑤ 評価

自己評価の基準			
A よくできた			
B ほぼできている			
C 次年度以降努力義務			
領域	評価の観点	自己評価	
運営体制	1 能率的、合理的な運営組織になっているか	A	
	2 職務内容が明確で協働できる体制か	B	・協働できる体制ではあったが職務内容が明確ではなかった為、全体会議等で全職員に周知する
	3 職員の配置は適材適所か	A	
	4 行事の分担や担当の振り分けは適切か	A	
	5 各種会議を適切かつ効率的に進めているか	A	
	6 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言をし、施設の運営に関わっているか	A	
	7 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か	B	・運営会議は適切に行うことができた 運営と栄養士の打ち合わせを行うことが多くあった為次年度は定期的に打ち合わせの時間を取り情報を共有していく
	8 保育方針の周知・反映はできているか	A	・全体会議や運営会議、適宜個別指導を行い、全職員が共通理解をした保育を行うことができた
	9 開かれた園の運営をしているか（地域への保育公開）	A	・公開保育を計画し、多くの保護者や地域の方が参加できるよう対応した
保育目標	1 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	A	
	2 目標は各施設や地域の特色を生かしているか	A	
	3 目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか	A	
	4 目標は前年度の反省を生かしているか	A	
	5 目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	A	

保育計画	1 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A	
	2 保育所保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか	A	
	3 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	A	
	4 素材・用具を適切に活用しているか	A	
	5 評価結果を基に保育の改善に努めているか	A	
年齢別・クラス経営・日々の保育	1 年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定できているか	A	
	2 年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか	A	
	3 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	A	
	4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	A	・各年齢別で月案作成を行い目標達成へと努めることができた
	5 意義や趣旨を理解した保育を行っているか	A	・毎月の目標達成に向けての指導方法や段階について連携し保育にあたることができた
	6 質の高い保育の提供意欲はあるか	A	
	7 指導の工夫改善をしているか	A	
	8 気になる子への対応は適切か	A	
	9 特色ある教育活動を取り入れているか	A	
	10 1日の流れは現行で良いか	A	
	11 伸び伸びと遊べる環境提供ができていますか	A	・天気の良い日は1日2回の散歩、雨天の際は降る前や止んだら散歩に出る等、戸外の活動を多く取ることができた
	12 道徳性の芽生えができるような取り組みをしているか	A	・遊びの中で遊具を順番に使う等伝えることができた
	13 年齢に合わせた生活習慣指導ができていますか	A	
	14 身近な人への親しみが持てるような取り組みをしているか	A	

年齢別・クラス経営・日々の保育	15 幼児の人間関係は円滑か	A	
	16 子どもと保護者と保育者の信頼関係は築けているか	A	
	17 園児は園への適応をしているか	A	
	18 年齢に応じた食育活動を行っているか	A	・食育活動を増やし食に触れる機会を多く作ることができた
	19 主体的に学びが芽生えるような取り組みを行っているか	A	
	20 体力が向上するような活動をしているか	A	・気候の良い日は必ず1日2回のお散歩や公園遊びを行い十分に体を動かすことができた
	21 振り返りや発達記録を適切に集積できているか	A	
行事	1 行事の種類や実施回数は適切か	A	
	2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	A	
	3 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動をしているか	A	
	4 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	A	
	5 保護者の願いや意見を取り入れているか	A	
	6 行事への取り組みは全職員共通理解のもと進めているか	A	
保健・安全指導	1 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか	A	
	2 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	A	・新たに防犯支援専門員の指導を受ける避難訓練を実施し不審者対応について学ぶことができた
	3 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為家庭への啓発を行っているか	A	
	4 乳幼児の安全確保の為家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	A	
	5 年齢に合わせた健康・安全指導を行っているか	A	

研究・研修	1 研修・研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	A	
	2 園内研修の計画・運営は適切か	A	・全職員が園内研修に参加することができた
	3 研修・研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか	A	・全体会議や朝礼等を通して職員で周知し、日々の保育に活かすことができた
	4 研修・研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか	A	
	5 外部の各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか	A	・研修予定を掲示し、個別に声を掛けることで、多くの職員が研修に参加することができた
	6 外部の各種研究会、研修会、講習会の内容を園内で共有しているか	A	
情報	1 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	A	
	2 公文書収受、発送、処理を適切に行っているか	A	
	3 各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか	A	
施設・整備	1 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか	A	
	2 遊具・用具等を活用しやすいよう整理・保管しているか	A	
	3 不審者等への対策を機関と連携し行っているか	A	
	4 衛生環境の整備に配慮しているか	A	
	5 掲示板、掲示場所等を適切且つ効果的に活用しているか	A	
出納経理	1 各種会計を適切且つ適正に処理しているか	A	
保護者	1 保護者との連携は取れているか	A	・デジタル連絡帳や送迎時、電話等で話をし、密に連携を取ることができた
	2 親支援となる活動を行っているか	B	・個別面談や講座の案内等は行ったが、懇談会のような保護者が集まって話をする機会が作れなかった為、次年度は計画していく

施設間交流・連携	1 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものか	A	
	2 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っているか	B	・公園での交流は時々行うことができたが、充実感を味わえるような交流はできなかった為、次年度再開予定の公立保育園のなかよし広場に積極的に参加できるよう計画していく
	3 指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか	A	
	4 参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園・小学校の教育を理解しているか	A	・近隣の小学校の授業参観や研究授業に参加し理解することができた
	5 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか	A	
	6 幼保小中と連携した事業を行い、子ども教育連携推進に取り組んでいるか	A	
家庭・地域社会との連携	1 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか	A	・公開保育を実施し、地域の方に参加してもらうことができた
	2 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	A	
	3 乳幼児の興味関心に基づいて地域社会その他施設と交流しているか	A	・行事に老人施設の方々や近隣の方々に参加してもらい交流することができた
	4 地域の行事に積極的に参加し地域の文化や生活に触れているか	A	
子育て支援の推進	1 地域の子育て支援の場として園庭や交流事業を実施しているか	A	・保育室を「赤ちゃんスマイルスポット」として提供している
	2 地域に住む子ども同士あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定をしているか	A	・公園遊びの際地域の子どもや保護者、他園と関わりを持てるよう意識することができた
	3 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	A	・草加市の子育て講演会や保育園の講演会案内等を配布し、学習の機会を周知することができた

子育て支援の推進	4 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか	B	・次年度は懇談会内で子育て相談を実施できるようにしていく
	5 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか	A	
情報の発信	1 園の公開に努めているか (自己評価の公表等)	A	
	2 保育園のお便り・ホームページ等で施設の情報を発信しているか	A	・ブログに献立表を載せ発信情報を増やすことができた
	3 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	A	
園内・外部評価	1 保育の評価を行っているか	A	
	2 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	C	・予算等も含め検討していく
	3 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	A	

⑥ 総合評価と次年度への課題

- ・キャリアアップ研修や様々なオンライン研修を全職員に周知し、各職員が多くの研修に参加し保育の資質向上に努めることができた
- ・全行事を計画通り実施することができ、新たに実施した公開保育は、多くの保護者や地域の方々に希望の時間帯に参観していただき、日常の様子を見てもらえる場を設けることができた
次年度は、発表会の開催について活動のねらいや保護者の希望を考慮しながら検討する
- ・親支援事業として、来年度は新たに雑談会の開催を計画していく